

「令和6年度第4回 独立行政法人勤労者退職金共済機構契約監視委員会」の審議概要について

開催日 及び場所	令和7年3月4日(火) 勤労者退職金共済機構 19階役員会議室(Web 開催)
委員 (敬称略)	竹内 啓博(公認会計士) 田極 春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 清水 幸(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事) 熊谷 麻貴子(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事(非常勤))
審査対象	令和6年11月～令和7年1月に契約締結された案件
概 要	<p>● 点検・見直しの審議について                  令和6年11月～令和7年1月契約の事後点検についての審議                  【競争性のない随意契約】 合計 2件                  【一者応札・一者応募】 合計 9件</p> <p>【主な指摘事項等】</p> <p>(1)随意契約                  特段の指摘は無し。</p> <p>(2)一者応札・一者応募                  ①「保存文書の保管及び運搬業務」                  保管場所の立地条件について、保存物の安全面に十分配慮する必要があるが、緩和できる点がないか検討すること。</p> <p>②「中退共システム再構築の新旧同一性検証作業対応のための現行中退共電算システム改修業務(退職金計算テスト用ツール(14年法以外の対応)機能の追加)」                  新システムを構築する際は、退職金計算の結果が現行システムと一致するように作成するよう、構築の要件に含めていると考えられるが、退職金計算テスト用ツールの調達が必要となった理由を説明すること。</p> <p>③「業務系センターハード共通基盤構築及び保守業務一式」                  調達の早い段階から複数業者にヒアリングを行い、参加資格等に参入障壁がないか意見聴取すべきである。また、予定価格の作成にあたり、複数業者に見積書を提出していただけるよう努めること。</p> <p>④「文書管理システム一式の更改及びデータ移行並びに保守業務一式」                  入札辞退業者の辞退理由を把握し、入札参加資格の部分で緩和できる点がないか検討すること。</p> <p>【指摘事項等に対する対応】</p> <p>(2)一者応札・一者応募                  ①「保存文書の保管及び運搬業務」                  仕様書に記載する要件について、業務上支障がない範囲で緩和することが可能か検討する</p>

こととしたい。

②「中退共システム再構築の新旧同一性検証作業対応のための現行中退共電算システム改修業務(退職金計算テスト用ツール(14年法以外の対応)機能の追加)」

中退共システム再構築プロジェクトにおいて、新システムの開発業務を行っている。新システムでは現行システムと同一の結果を得られるよう要件定義を行っており、退職金計算における新旧同一性検証を行うこととなっている。

新システムでは退職金計算結果を検証するため計算過程のデータを出力できるが、現行システムは退職金計算の結果だけを記録しており、計算過程を出力する機能を持ち合わせていなかった。特に、使用言語も異なることから、計算結果に違いがないか等も確認する必要があるため、当該ツールを別途に新規開発することとなった。

③「業務系センターハード共通基盤構築及び保守業務一式」

調達にあたり、複数業者への声かけ・情報収集等を行い、より多くの見積もりを取得できるよう努めることとしたい。

④「文書管理システム一式の更改及びデータ移行並びに保守業務一式」

入札辞退業者の辞退理由について分析を行い、要件等で緩和できる点については次回調達の際、仕様書に反映することとしたい。